

働くよるこび

CHOFUSHI SILVER JINZAI CENTER

第157号

《会員数》

(令和元年12月1日現在)

男 …… 1,043名
女 …… 619名
計 …… 1,662名

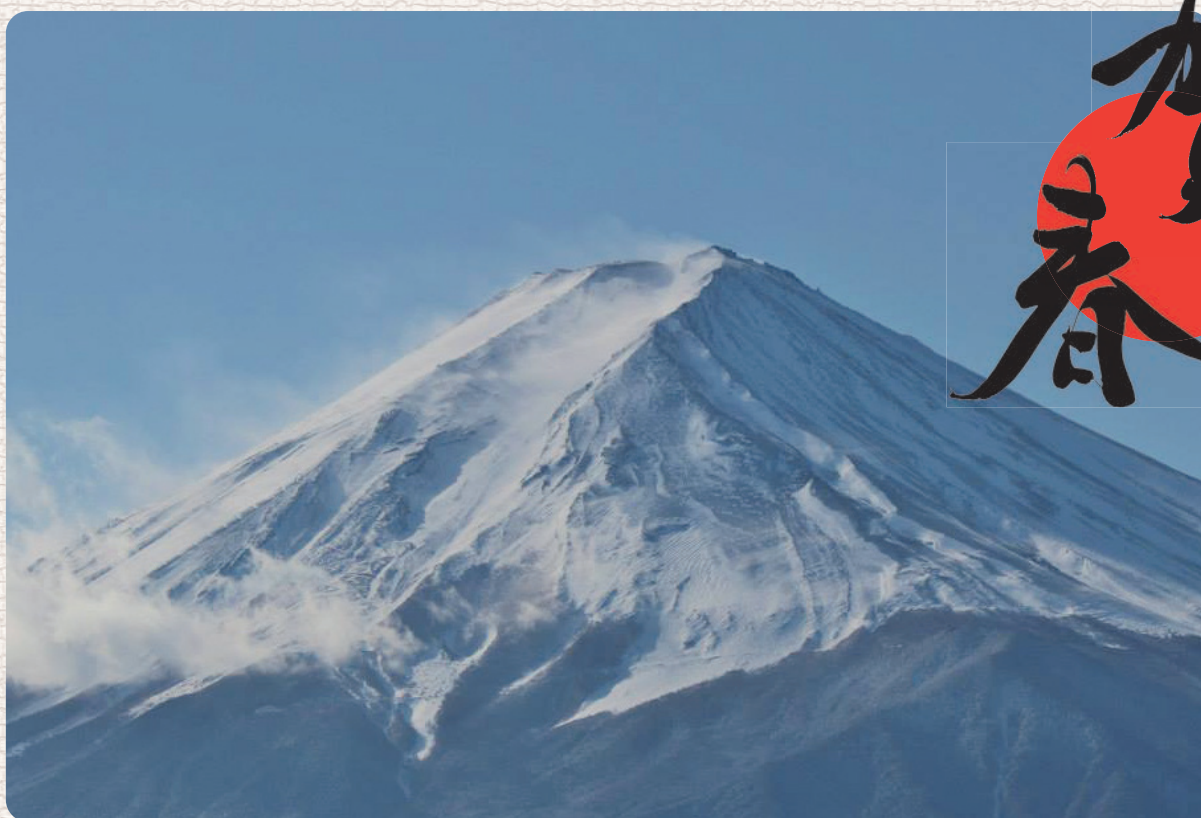
令和2年1月発行

発行者：永谷 誠

調布市小島町3-87-4

TEL.042-487-9375

発行／ 公益社団法人 調布市シルバー人材センター



「空き家等の適正管理に関する協定」締結式



スーパーストア班の皆さん

調布市シルバー人材センター

検索

<http://www.chofu-sc.or.jp>



新年を迎えて



会長
名誉市長
調布市長 友貴 樹

あけましておめでとうござい
ます。新年にあたり、調布市シルバ
ー人材センター名誉会長として御挨拶
申し上げます。会員の皆様にお
かれましては、健やかで清々しい
新年をお迎えのことと、心からお
慶び申し上げます。

いよいよオリンピック・パラリ
ンピック開催の年となりました。
多くの人に元気と感動を与えてく
れたラグビーワールドカップの取
組成果を踏まえ、多様な主体との
連携による多面的なレガシーを創
出し、市のまちづくりにつなげて
いかなければならないと考えてお
ります。

そのような中、貴センターの皆
様には、高齢者への多様な就業機
会の提供を通じ地域福祉向上に長
きにわたり御尽力いただいております。
改めて心から感謝申し上げます。
そして会員の皆様が知識と経験を
次世代へ継承されながら、働くこ
とにより、元気高齢者の社会参加

や介護予防が促進され、それが健
康長寿に繋がりますことを大いに
期待しております。

結びに、会員並びに御家族の皆
様にとりまして、本年も素晴らしい
年となることをお祈り申し上げ
ます。

新春を迎えて



会長
永谷 誠

明けましておめでとうございま
す。会員の皆様には令和二年の初
春をお健やかにお迎えのこととお
慶び申し上げます。

高齢者自身が地域で働くことを
通じて、様々なニーズに応えてい
き、我々シルバー会員が高齢化社
会の担い手として調布市民に信頼
される努力を重ねていきたいと思
います。会員数も1600名余に
広がり契約額も堅調です。これも
ひとえに調布市をはじめとする諸
機関のご支援と全会員の活躍の積
み重ねによるものと、心より感謝
申し上げます。さてここ数年はシ
ルバー事業を取り巻く環境は大き

く変容しています。今こそシルバ
ー理念の自主自立・共働共助を再認
識し、これまで培った経験、知識、
能力を活かしご活躍いただきま
すようお願い申し上げます。昨年
は台風襲来で被害がありました。
自然災害は人知を超えることも
あります。常日頃の準備が必要で
す。今年は平穏な一年であれと念
じつつ、会員皆様のご健勝、ご多
幸をお祈り申し上げます。



あけましておめでとうございます

理事・監事一同

年男・年女
朝1分間の出会い



網代 精二郎

今年で84回目の新年を迎えてお
ります。シルバー人材センターは
入会して8年目になります。初め
から自転車班で8ヶ所の現場を担
当し、諸先輩のご指導のお陰で一
人前の仕事ができるようになりました。
現在の仕事場は西調布北駐
車場で、高速道路の下にあり雨の
日でも雨具はいりません。ただ日
差しは少なく曇や雨の日は結構暗
いです。でも、私には明るくなる
毎日の楽しみがあります。最近ひ
孫で3才の男の子と女の子が来る
様になりました。母親に連れられ
朝8時半頃やつて来ます。男の子
は恥ずかしがりやで帰る時にバ
イバイするのがやっとな、女の子は
ハイタッチやバイバイと手を使
う仕草がとても可愛いんです。朝
の1分間位の出会いですが、毎朝
わくわくする気持ちで過ごしてい
ます。毎日の中で楽しいことがあ
り、くよくよせずに日々を過ごす

ことが私の健康法かもしれません。
ひ孫たちの成長をこれからも見
届けていきたいと思います。

人生を旅する



作 間 和 子

あけましておめでとうございま
す。調布に住んで、シルバー人材
センターで働いて二十年になりま
す。シルバーでのお仕事で楽し
かった思い出は沢山ありますが、
一緒に働く仲間との語らいやお食
事会がとても心に残っております。
また、清掃の仕事をしている時
に「ありがとう」と感謝のお声か
けをいただいた時はとても嬉し
かったのを覚えています。

また、昔から余暇を利用しての
旅行がとても好きで、海外へのひ
とり旅も数え切れない程になりま
した。今は、同じマンションの人
達と健康麻雀やゲーム等をして楽
しんでおります。沢山の方とふれ
あい、規則正しく食事を頂く事が
私の健康の秘訣かもしれません。

就業のよろこび

和裁が大好き



和・洋裁班
降幡 征喜子

和裁を始めたのは、友達に誘わ
れ、軽い気持ちで習い始めました。
あつという間に十年が経ってしま
いました。

先生のもとで習っているのです
が、人の物を縫ってみたいと思い
先生の許可をもらい、シルバーで
着物を縫わせていただける事にな
りました。

裁断の時は、念には念を入れ切
りますが、まれに失敗したりする
ことが有ります。そんな時はただ
お詫びをするしかありません。止
める訳にはいかないので気持ちを切
替え、頑張るしかないと思いまし
た。

そんな時、七五三の着物を縫つ
てほしいと言われ勉強だからやり

なさいとの事でした。でもやって
みたら、柄合せがとても大変でし
た。いつの間にか出来上り、良かつ
たと安心しました。コート、袴(あ
わせ)、色々数をこなさないと腕
が上がらないので、これからも一
生懸命、精進しようと思いました。

小学校の頃から、縫う事が大好
きでいろいろな物を縫って来まし
た。まさか着物にたどりつくとは
思ってもみませんでした。

好きな事が出来ると言う事はと
てもしあわせな事です。

楽しき職場にて



イトー
ヨード一 班
佐藤 武

シルバー人材センターに登録す
る事に決めたくつけ、それは会
員のほとんどの皆さんと一緒にだろ
うと思うのですが、「動ける内は
動いた方がいいのだ！」というこ

とです。

昨今、「引きこもり」が年齢を
問わず取り沙汰されている中、自
分もそれに近いのではと思い始め
たところでした。人材センター「入
会説明会」を眼にしたときにはこ
れしかない、即に入会説明会・
新入会員研修・登録と順を踏んで
参加させていただき入会いたしま
した。

すぐにストアの商品搬入の仕事
を紹介されて就業しましたが、一
年半過ぎた頃に体調を崩し(原因
は自己責任の飲酒)2、3ヶ月程
休みました。

体調が戻ったところで、就業の
復活をさせていただき(感謝!)
現在にいたっております。就業時
間・就業シフトも自分にはピツタ
リで「体力的にキツイかな」なんて
時もあります。人材センターの
先輩、ストアの社員さん達との良好
なコミュニケーションの中、気持
ち良く働かせてもらっています。
今までの不摂生なる飲酒も改め、
少しでも長く就業出来るように
日々頑張っております。

地区全員交流会

今年も10月中旬に各地区の交流会が開催され、約400名の会員が参加しました。



【東部地区】

講演のテーマは『だまされないで、振り込み詐欺に』。調布市役所総合防災安全課のスクリーンを使って説明、具体例寸劇場面もあり、参加者は関心をもつて聞いて

いました。

アトラクションは大正琴の演奏。5名の演奏者がそれぞれのパートを担当した演奏。曲目も懐かしい歌から演歌まで幅広く、加えて歌を担当する方の上手な進行で場の雰囲気盛り上げながら、一緒に歌いながらあつという間の時間でした。



(幹事 井上正憲)

【西部地区】

私達の交流会は、最初に市の住宅課から空き家対策の話があり、

次に介護についていざ受ける時にどのような手続きをどこで受けるか、という話を中心にちょうふの里の方々に講演していただきました。



アトラクションは昨年同様「ザークル四季」にお願いし、ハーモニカ演奏を行いました。なじみの曲を中心に皆、満足して聞き入っていました。司会の山戸氏のスムーズな進行で雨の降る前に無事終えることが出来ました。

(幹事 宮原正司)

【中部地区】

私達中部地区の伝統として、「手づくり」「合唱」「仲間のライブ」「講演」と大きな流れは決まっています。今年の交流会のスタートは「働くよろこびかみしめて」調布シルバーの歌を全員合唱でスタートしました。講演は自転車事故が多い為「安全な自転車運転」を調布警察の交通課に依頼しました。次に体操で体をほぐし、中部地区のメインである「仲間のライブ」そして「みんなで合唱」今回は3曲、工夫したナレーションを入れてな





【南部地区】
私達の交流会では、シルバー事務局長の肥田さんが新規会員の増強を呼び掛けられました。
市の住宅課から空き家対策の話の他に地区担当理事から活動報告がありました。
今年も大正琴演奏。青春時代、学生時代、手のひらを太陽に、他、参加の会員で合唱、それぞれの思

つかしく、楽しく全員合唱が出来ました。前準備、そして全員の協力で無事終了し、ほっとしました。
(幹事 永沢澄雄)



【北部地区】
い出、地域の発展、福祉、繁栄へ一層の絆を深め、シルバーで働く喜びを感じる楽しい南部地区全員交流会になりました。
(幹事 羽入田紀一)

私達の交流会は、同じ地域に住んでいるシルバー会員の交流を深めることを念頭におき、出席者の方々の全員参加を第一方針としました。
その内容は、①各テーブル毎に



地区委員が司会進行役を務めた「自己紹介」②各テーブル対抗による調布市内に関連する「ご当地クイズ」③「歌声喫茶」では歌の講師を招いて、青春の思い出の曲の合唱をしました。どれも会場は一つになり大いに盛り上がりました。
来年は参加者が増えるよう呼び掛けるとともに満足のいただけの交流会が開けるよう努めていきたいと思ひます。
(幹事 沼保敏邦)

会員投稿欄「会員の広場」の新設！

シルバー人材センターの会員を中心とした「サークル活動」の紹介記事や写真・川柳・俳句・短歌等を募集します。

シルバー人材センターは働くことによる「生きがい・地域貢献」の他に「地域の仲間作り」の場でもあります。

今後の会報の中に「会員の広場」のコーナーを検討中です。趣味の女子会やシニアテニスの会、また職群班での旅行記など、様々な分野で仲間達の活動を紹介しします。

そんな楽しい情報を、事務局「広報担当」までお寄せください。お問い合わせも大歓迎！連絡いただければ取材も行います。
(広報委員会)



新しい地域貢献事業スタート！
「空き家等の適正管理に関する協定」を調布市と締結

交流会の場でも時間をいただき、市の担当者から説明のありました空き家等維持管理について、調布市都市整備部住宅課、事業部理事、センター事務局出席のもとと長友市長、永谷会長を代表者として11月5日「調布市における空き家等の適正管理に関する協定」の締結が行われました。

範囲内の業務から取りかかり、地域住民の生活環境の保全及び安全で安心なまちづくりの推進を目的として、地域貢献に努めてまいります。

調布市では平成27年度に空き家実態調査を行った結果、576軒の空き家が確認され、今後、さらに増加傾向が続くと考えられます。空き家を放置することでの諸問題に、市からの紹介、所有者等からの相談に応じ、

(1) 空き家等の見回り（外観目視点検）

(2) 敷地内の草刈り、除草及び清掃

(3) 樹木の伐採、剪定

を中心に引き受けることができる



（事業部会）

シルバー人材センターで
いっしょに働きませんか?!

会員募集中!!



健康！生きがい！地域貢献！

口コミで会員拡大を！

皆さんの知人・友人等を紹介して、調布市シルバーで共に働く仲間を増やしましょう！

- ◆センターのパンフレットは事務局にご用意しています。
- ◆また、パンフレットはセンターホームページにて、閲覧できます。
- ◆入会を検討している方には、まずはセンター事務局へお電話を！相談・入会説明会へのご案内をします。☎042-487-9375

役員研修報告

今年は全国に先駆けて、地元自治体と協力し空き家対策事業を展開している坂戸市シルバー人材センターを11月28日に訪問しました。

坂戸市では平成26年に「空き家等の適正管理に関する協定」を市と締結し、「空き家見回り業務」を受託し、順調に事業を拡大しています。

調布市でも本年4月には「空き家等対策計画」の実施を目指しており、私達シルバー人材センターと協定を結んだばかりです。

そこで今年は、先行事例を学ぶべく先方にお願ひし、役員研修を実施する運びとなりました。研修には理事・監事10名と事務局2名が参加しました。

研修会では、事前に通知させていただいた「空き家対策事業のポイント」「女性の会の活動」「安全対策の取り組み」の3点について坂戸市の事務局長から説明があり、質疑を行う形で進行していきま

した。空き家対策事業については、実際に使われているチェックシートやお客様への報告形式、また実際

の作業における注意点等経験を踏まえた内容に、多くの質問が投げかけられました。

また、「女性の会」については会員の4割を占める女性会員のコミュニケーションを図り業務にいい結果を残していることや、会員の増加にもつながっている事例のお話がありました。

就業の安全管理については、継続的な啓発の重要性について共通認識に至りました。

今回の研修で得られた知見は今後の私たちの事業展開に大変役に立つものと考えられます。お忙しい中対応いただいた坂戸市シルバー人材センターの皆様には、誠に借りにお礼申し上げます。



(総務部会)

郷土ヒストリア

⑧

平成年間の調布市

二〇一九年五月一日、令和に改元され、約三十年におよぶ平成の時代が終わりを迎えました。

では、私たちの住む調布市にとって、「平成」はどんな時代だったのでしょうか。

昭和三十年に市制施行した調布市は、都市近傍の街として高度経済成長期以来の人口増加を続けてきました。近年、特に平成十年頃以降は増加幅が大きく、平成三十二年四月一日現在の調布市の総人口は二十三万五千八百五人です。

人口増加に伴い生じた課題に対し、様々な施策がなされ、市内の様子が大きく変化しました。まず、処理すべきごみの量が増加し、資源リサイクルによるごみ減量の取り組みがスタートしました。また、機能的で充実した街づくりを目指し、駅前の再開発事業も仙川・国領・布田の各駅で進められました。駅前の交通渋滞等の解消のため、

京王線の調布・布田・国領間の連続立体交差事業(地下化)が行われ、鉄道により分断されていた市街地の一体化や鉄道敷地跡の有効利用が図られるなど、より魅力的な市街地の形成が進んでいます。

その他、平成十三年に開業した東京スタジアムなどスポーツ施設の充実・イベントの開催や、水木しげる・新選組をはじめ全国的にも注目を集める地域おこしは、特徴的な出来事です。

調布市にとって「平成」は、人口増加に伴う諸課題に対し市街地の開発をはじめとする施策が行われ、スポーツ・文化面の充実も進み、より魅力的な街になった時代だと言えるでしょう。

(調布市郷土博物館 土井)

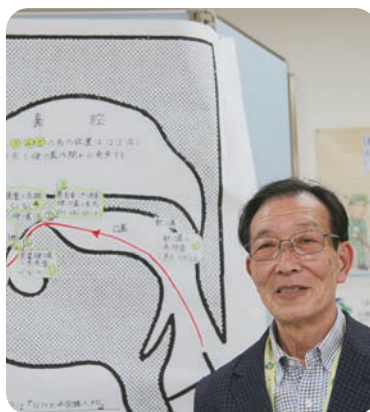


調布市航空写真
(平成27年撮影)

8回にわたり連載した『郷土ヒストリア』は今回で最終回です。ご執筆いただいた郷土博物館の皆様、ありがとうございました。

事業部会だより

●新規開講！「わくわく中国語教室」



「わくわく中国語教室」は10月5日付市報とセンターホームページで受講者の募集をしたところ、翌日には定員に達し、12名に拡大し11月7日からスタートしました。6ヶ月のコースになっていますが、継続して楽しい教室になっています。よう期待しているところです。中国語教室の講師辻民治会員からコメントをいただいています。

「中国語教室」を始めるに当たりご挨拶申し上げます。

現在私は、学校管理員業務を担当して4年目になります。これまで約7か月に及ぶ準備期間を経て、11月に入り何とか『わくわく中国語教室』の開講を迎えることと

なりました。恥ずかしながら私は、今まで教師経験など皆無なズブの素人です。それにもかかわらず定年まで長く勤務した華僑商社で培った語学力が生かせるのではと、会長から熱く説得され、それに応じた次第です。

以後私は、頭の中で十数年間未使用の古いファイルを引き出して、保存した知識の整理整頓作業に追われる忙しい日々を送っています。教えることは、学ぶことに等しい”を実践する事と同時に、皆様とご一緒に長く楽しい授業ができますよう心がけるつもりです。

おしまいに、遅ればせながら、未経験の私に新しい分野で挑戦する機会を設けて下さいましたシルバー人材センターの関係各位に心から感謝申し上げます。

●職群班グループリーダー会議

〈開催予定〉

家事・作業群 1月27日（月）
技能・民間群 1月28日（火）
管理・公共群 1月29日（水）
時間 10時～11時30分
場所 センター大会議室

（事業部会）

総務部会だより

福祉まつり

12月1日（日）社会福祉協議会主催の福祉まつりに参加しました。昨年は市役所前広場でしたが、今年は調布駅南口広場と立地に恵まれ地元産の新鮮野菜と花の販売を行いました。

売上金（43,640円）は全額社会福祉協議会へ寄付しました。



秋のパンフ配布等の

センター広報活動

今年も10月下旬に理事・事務局による駅前パンフレット配布活動を実施しました。対象は調布駅前、国領駅前、仙川駅前で約1,500部を配布しました。また、地区委員と配布班会員のご協力により、約48,000枚を市内全域にポスティングしました。その結果、家庭からの受注の問い合わせが増しました。



（総務部会）

安全管理委員会だより

令和になって初めての新年を迎え、昨年にも増して、会員の皆さんの健康の増進と安全の確保に注力します。

健康の増進と安全の確保は、個人の幸福の最も重要な要素であるとともに、サービス品質の維持・向上のためにも同様であります。お客様に満足いただくためには、知識や技術の向上も必要ですが、健康な心と体が最も重要です。

第3四半期には体力の維持向上を図るために、ストレッチ体操研修とウォーキング研修を実施しました。また、職群班会議では、データーや事例を示して意識向上に努めました。

【研修・勉強会の報告】

10月17日(木)「ストレッチ体操研修」
22名の参加者と共に、筋力トレーニングに励みました。
11月29日(金)「ウォーキング研修」
21名の参加者と共にぴんしゃんウォーキング学びました。



【今後の活動予定】

1月 安全標語の選定
2月 傷害・賠償事故防止研修

最後に、昨年10月12日に来襲した台風19号についてですが、被災された地域の皆さんには心よりお見舞い申し上げます。

(安全管理委員会)

安全ニュース

転倒を予防しよう！

転倒しやすい場所は？

- ▶横断歩道・車の出入り口
- ▶タイル・マンホール
- ▶バス乗り場 等

転倒しやすい人は？

- ▶急いで慌てている人
- ▶両手がふさがっている人
- ▶何かに気を取られている人

☞ 対策法

- ◇移動は歩き or バスや電車
- ◇時間に余裕を

風邪を撃退しよう！

主な感染経路は？

- ▶接触感染
- ▶飛沫感染

☞ 対策法

- ◇手洗い・うがい&咳エチケットの徹底
- ◇栄養バランスの良い食事を摂る
- ◇十分な休養と睡眠をとる
- ◇適度な運動を行う 等

◆ 風邪に罹ったかなと思ったら ◆

- ◇すぐに医療機関で受診
- ◇十分な水分補給と休養



昨年の9月からインフルエンザの流行が続いております。これは海外からの旅行客の激増を中心とする人の往来による感染があり、今ではインフルエンザは年間を通じての感染症となったと言われています。ただし、今の時期が最も注意を要する時期であることに変わりはなく、予防と罹病後の治療に万全の配慮をお願いします。

これからの

事業予定

令和2年

1月9日(木)	入会説明会
14日(火)	就業希望会員の相談会
16日(木)	新入会員研修
17日(金)	第9回理事会
20日(月)	配分金支払い
2月13日(木)	入会説明会
14日(金)	配分金支払い
20日(木)	新入会員研修
21日(金)	第10回理事会
3月12日(木)	入会説明会
13日(金)	配分金支払い
19日(木)	新入会員研修
27日(金)	第11回理事会

就業会員急募

◆春に向けて募集します！

除草・草刈り

◆随時募集中です！

襖・障子張替え・植木の剪定・塗装・刃物研ぎ・和裁・大工・左官
ぜひ事務局までお問い合わせください。

TEL: 042-487-9375

事務局だより

明けましておめでとうございます。地域に根ざしたセンターを目指し、より一層、事務局一同頑張つてまいります。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



【人事異動】

臨時職員の遠藤昌子さんが退職されました。

また、12月1日付で臨時職員として、石岡敏恵さんが採用されました。よろしく願います。

スマスマ登録受付中！

前号でご案内しましたメール情報配信サービス「スマイルtoスマイル」が配信スタートしました！ご登録いただいた会員の方、ありがとうございます。

まだ、登録がお済みでない方、登録は簡単です。事務局へお気軽にお問合せください。

今後は、職群班会議等で事務局から登録のご案内をさせていただきます。是非、登録を！

新入会員数
(R1年9月～R1年11月)

地区	男	女	計
東部地区	1	1	2
西部地区	6	7	13
中部地区	4	5	9
南部地区	5	2	7
北部地区	4	4	8
計	20	19	39

事業実績内訳表

令和元年	8月	9月	10月
会員数	1,627	1,641	1,649
受託件数	798	873	900
就業実人数	984	1,049	991
契約金額(千円)	55,760	59,723	56,596

編集後記

明けましておめでとうございます。

元号が「令和」に改まり、はじめての新年を迎えました。

平成より引き継いだ昨年は、台風15号、19号が日本の各地に被害の爪あとを残しました。

会員の皆さんにも被害が出ていると聞き、お見舞い申し上げます。

そんな状況の中、10月に集中した「東・西・中・南・北」の5地区の全員交流会が開催され、多くの会員の皆さんが参加し楽しめました。

大変うれしく思います。

今年の広報委員会は6人のメンバー内5人が新人です。メンバーそれぞれがアイディアを出し合い、会報「働くよろこび」が会員の皆さんにもっと親しまれる内容にしたいと思います。

会員の皆さんからの寄稿、大いに歓迎です。

又、写真などコメントを付けてお願いします。

(佐々木 修)